



誹謗中傷



こんな使い方してない？危険なSNSの使い方

誹謗中傷とは何か

誹謗中傷とは、相手の悪口を言ったり、根拠のないうそを言ったりして他人の名誉を傷つけることです。匿名だからといってSNSで誹謗中傷を行うと、開示請求され、刑事罰が科される可能性があります。

誹謗中傷は人の命を奪う

ネット配信番組に出演していた女性に対し、毎日数百件もの誹謗中傷が投稿され、それを苦に自殺した事件があります。このように、誹謗中傷は人の命を奪うこともある加害行為です。

「みんなやってた」「正義感からやった」「相手は有名人だし」という人もいますが、誹謗中傷はどんな理由があっても、許されるものではありません。SNSに投稿する際は、一度冷静に投稿内容を見つめ直す必要があります。

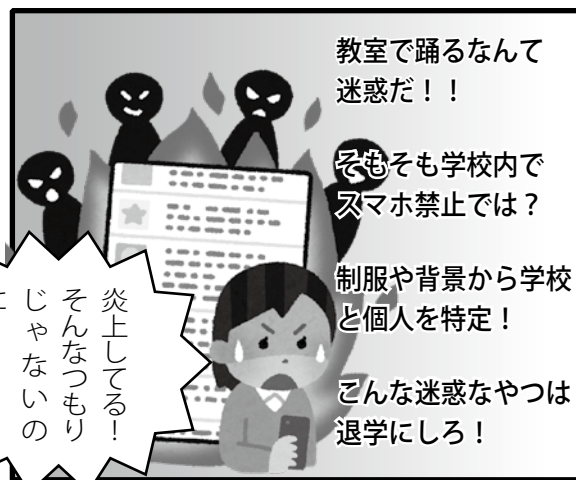
誹謗中傷の例

名誉毀損

Aは会社でセクハラするクズ野郎らしいよ。

侮辱

Aは本当にバカなやつだよな。



情報拡散

身内に向けて投稿したはずなのに...

SNSで、友人などの親しい人しか公開されない設定で投稿したはずのものが、気付かない間に誰かがスクリーンショットなどをして公開アカウントで拡散されることもあります。信用している人しかフォロー許可をしていないといっても、非常識な投稿をしてしまうのは、自分自身にとって大きなリスクとなります。

そして、一度広まってしまった情報は、デジタルタトゥーとして残るため消えることはありません。その投稿を元に個人情報特定されてしまい、本人だけではなく、家族や友人にも迷惑がかかります。場合によっては、多額の損害賠償を請求されることもあり、たった1回の投稿で人生を棒に振る可能性があります。

SNSに投稿する際は、内容が不特定多数の人が見ることを前提に、適切なものであるかどうか確認するのはもちろんのこと、鍵付きアカウントだからといって、その場のノリで不適切な内容を投稿しないことが大切です。また、相手の同意なしに投稿を別の場所に掲載する無断転載は犯罪です。

大丈夫？

あなたの

ネットリテラシー

誰もが簡単にインターネット（以下ネット）にアクセスできる現代。ネットは使い方次第で場所や時間を問わず、多くの人と交流し世界を広げられる一方で、匿名性を利用した誹謗中傷など思わぬ事件に巻き込まれてしまうリスクもあります。正しくネットを活用するため、今回の特集ではSNSを中心に正しい使い方や危険性について紹介します。

Instagram

画像・動画、ストーリーズやリール（短い動画）など多くの形式で投稿できる。

写真の背景や映り込みなどから、個人の顔や場所などが特定される危険性がある。



X

旧 Twitter。短文や画像、動画などを共有でき、つぶやくように簡単に投稿できる。拡散力が高い。

拡散力が高いため、誤情報の拡散や炎上、不快な投稿への接触がある。

LINE

知り合いとの連絡などに使用される無料のコミュニケーションツール。

投資詐欺や闇バイト、情報商材詐欺などLINEを悪用した詐欺が発生している。

主要なSNSの特徴

BeReal

「ありのままの瞬間」をリアルタイムで共有するSNS。1日1回ランダムな時間に通知が届き、その通知から2分以内にフロントカメラ・バックカメラで撮影したものを加工なしで投稿する。多くのユーザーが10代から20代。

画像加工できないため、意図しない他者の映り込みや、公共の場でのマナー違反などがある。また、位置情報が共有されるおそれがある。

TikTok

短い動画を撮影、編集し、投稿するSNS。「おすすめ」機能によって、フォロワー以外が投稿を見る機会があるため、フォロワーが少なくてもバズる可能性があるなど、拡散力が高い。若年層に人気。

保存機能があるため、動画を保存し別のSNSに無断で投稿され、投稿者の意図しないところで拡散されるおそれがある。

若い人に人気のSNS

ネット関係用語解説

ネットリテラシー

ネット上の情報を正しく理解し、正しく判断・活用する能力のこと。

SNS

「ソーシャルネットワーク・キングサービス」の略。ネット上で人とつながり、情報共有するためのサービス全般。

炎上

ウェブ上の特定の対象に対し、批判が殺到し収まりがつかないような状態。

バズる

ネットやSNS上で特定の情報や投稿が、短時間で爆発的に拡散され、話題になること。

鍵付きアカウント

通称「鍵アカ」。非公開状態になっているSNSのアカウントのこと。

デジタルタトゥー

ネット上に一度でも公開されたものは、削除しようとも半永久的に残り続けてしまう現象。

ネットでの被害に遭わないために

投資・ロマンス詐欺

SNSで「こんなに簡単に1億円手に入れました。方法を知りたい方は連絡ください」といった明らかに怪しい投稿や広告を目にしたことがある人もいるのではないのでしょうか。

SNS上でお金の話をされたら、まずは疑うことが大切です。SNSやマツチングアプリなどで知り合った人から、会ったこともないのに「会いに行くための交通費を送って」「2人の将来のため」などと甘い言葉とともに金銭を要求されたり、投資を勧められたりしても、お金を振り込む前に家族や警察に相談しましょう。

詐欺見極めのポイント

- ☐ 実際に会ったことのない人からお金の話をされる
- ☐ 投資に誘導される
- ☐ 連絡手段がLINEやTelegram*
- ☐ 「必ず儲かる」「損はしない」と言ってくる
- ☐ 家族や友人に話さないでと言ってくる

*匿名性の高いメッセージアプリ

個人情報流出

個人情報とは、個人の氏名、生年月日、住所、顔写真など特定の個人を識別できる情報のことです。

実は個人情報は、SNSの投稿から簡単に分かることもあります。個人情報が流出すると、アカウントの乗っ取りや、金銭被害、ストーカー被害に発展するおそれがあります。

IDやプロフィールから名前と生年月日が推測できる。

制服姿のアイコンと写りこんでいる手（制服）から学校が特定できる。

投稿時間と天気の情報から、住所が特定できる。

使い方一つで広がる世界



ネットが使えることで生まれるメリット

ここまで、ネットを活用するうえでの注意点についてお話してきました。では、ネットのメリットはどのようなものがあるのでしょうか。

今回は、こどもの居場所づくりに、メタバース（ネット上の仮想空間）の活用にも取り組む地域おこし協力隊の本田陽一さんにお話を伺いました。

TakikawaVerse 内の様子

TakikawaVerse (メタバース)

地域おこし協力隊
本田 陽一さん

ネットを活用することで変わった生活

ネットを活用することで、大きく変わったと思うことが2つあります。

1つ目は「仲間ができるスピード」です。実際には距離が離れている方と知り合う機会が多くはないと思いますが、ネットを活用することで、場所に関係なく出会うことができます。そのスピード感にはオンラインならではのスピード感を感じます。

2つ目は「挑戦できる範囲が広がった」ことです。ネットは、多くの情報を手に入れることができ、今まで未知だった世界を知ることができます。それが自分に合った趣味や仕事にすることができま

世代ごとのネットを使うメリット

若い世代がネットを使うメリットは、ネットを通じて好きなもの、得意なものを見つけることができることです。学校では見つけられなかったことも、ネットを使い多様な情報を見ることができ、新たな視点から自分の得意なことを見つけられるかもしれません。

また、大人の世代では、ネットを使い学び直しができることです。ネットで良いコンテンツを無料で見ることができ、ため、自宅にいながら学ぶことができます。習い事も年齢・性別を問わずに気軽にできるのもネットの1つです。

これからネットを活用する人へ

ネットは、個人情報の流出やお金についてのトラブルのほか、誹謗中傷についても注意が必要です。トラブルを回避するためにも、ネットでもルールやマナーをしっかり守っていくことが大切です。ネットは包丁と一緒に、正しい使い方をすれば自分にとってメリットのあるものです。ただ、使い方を間違えると人に危害を加えたり、自分が被害を受けたりすることもあります。

分からないときは、自分一人で考えず、一度立ち止まって、家族や友達など信頼できる人に相談してアドバイスをもらうようにしましょう。



滝川第二小学校でのスマホ教室の様子

滝川市での取り組み

子どもたちはどれくらいネットに接しているのでしょうか。令和7年、市内の小学3年生から中学生までを対象に行った「インターネット利用に関する意識調査」では、回答のあった小学生では50%以上、中学生で70%以上がスマートフォンを所持していることが分かりました。幼いころから身近にネットがあるなか、正しくネットを活用するためにも正しい知識を身につける必要があります。滝川市では、市内の小学校で市教育委員会の職員を講師にスマホ教室を、中学校では、市と連携協定を結んでいる企業が情報モラル教室を行っています。



スマホ教室で講師を務める社会教育課 矢島 依里さん

ネットはとても便利で楽しいものですが、興味があるニュースを読んだり、気になるワードを検索したり、使えば使うほど、個人の趣味嗜好に合った情報・報道・コメントが目立つようカスタマイズされていきます。目にした情報だけをうのみにせず、多角的に確認することが重要です。そして日々進化するSNSについてですが、周りに似たような考えの人ばかりが集まる「エコチェンバー」や、

自分の好みや見たい情報以外がはじかれる「フィルターバブル」という現象が生じ、判断が偏る可能性があります。未成年のSNSでのトラブルが大幅増えています。ネットで起こったトラブルは人生経験が浅い子どもたちにとって人生最大のピンチで、命に関わる問題になることもあります。子どもたちの異変を察知し、相談してもらって環境作りが大切です。

ネットトラブルで困った時の相談先

ネット上でのトラブルについての相談先は、内容によって異なります。詳しくは、左記の二次元コードよりご確認ください。



出典：総務省
「上手にネットと付き合おう！」

ATO GAKI